

自まんの中の町小学校

わたしが通っている中之町小学校には、自まんがたくさんあります。

一つ目は、「あかるく・いつでも・さきに・つながる」という目標を立てているあいさつです。友達、先生、地域の人など、いろいろな人にあいさつをしています。登下校中でも、すれちがう一人一人に「こんにちは」「おはようございます」と、あいさつを心がけています。あいさつをすると、した方もされた方も気持ちが良いなり、今日もがんばるぞ！という気持ちになります。

二つ目は「三愛」です。「三愛」とは、学びあい・思いあい・高めあいです。「学びあい」はみんなで協力して勉強すること。「思いあい」はそれぞれが相手のことを考えて行動すること。「高めあい」はいろいろな意見を出し合って勉強することです。

三つ目は、全校音楽です。11月にある学習発表会などの大きな場で、4月から全校で一斉けんめい練習した歌声を体育館に響かせます。1から3年生までは、高音部を歌います。4から6年生までの半分の人は低音部を、別の半分の人は高音部を歌います。今まで6年間、いろいろな曲に挑戦してきましたが、今練習している曲が一番難しいです。高音を低音が追いかけたり、低音が高音を追いかけたりする部分や、音程が取りにくい部分があったりする曲です。発表会までに、うまく歌えるようにがんばっていきなさいです。

四つ目は、児童会が考えた行事がたくさんあることです。大なわ大会やドッジボール大会などです。ドッジボール大会は、低・中・高学年の三つに分かれて行い、1位から4位を決めます。他にも、力を合わせて応えんすれば賞がもらえます。

中之町小学校の自まんは他にもたくさんあります。これからも、もっともっと中之町小学校の自まんが増えるようにしたいです。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介し
— 連載第19回 —

北方小学校の伝統を大切に

「おはようございます。」

北方小学校は、「大きな声で毎朝あいさつ」が自慢の全校31人の学校です。私たちは休憩時間には一輪車に乗ったりサッカーをしたりして他の学年とも一緒に遊んでいます。

北方小学校には伝統ある活動がたくさんあります。その中の一つは、森林学習です。学校の近くにある梨和城跡で地域の人に教えてもらいながら植林をしたり桜の木に肥料をやったりしています。その近くには様々な野鳥がおり、ジョウビタキやキセキレイなど10種類以上の鳥を双眼鏡で観察しました。

二つ目は、国際交流や地域交流会を開いていることです。毎年1月に外国の方を北方小学校に招き、その国の生活や食べ物などを紹介していただきます。ロシアの方から、「ぬれた髪で外に出ると髪が凍るよ。」と聞いて驚きました。午後からは読み語りや習字などをいつも教えてくださる地域の方をお招きして、地域交流会を開きます。地域の方とおもちをついたりクイズをしたり昔の遊びをしたりします。外国からのお客様も一緒なので楽しくなります。最後に私たち高学年がお茶を出したり感謝の気持ちを伝えたりすると地域の人はとても喜んでくださいます。

また3年生以上で練習している「梨和清流太鼓」もあります。大きな声を出し、音を響かせ力強い演奏を目指して頑張っています。

このような北方小学校ですが、来年が最後の年になります。142年の歴史を閉じるのは悲しいけれど、私はこれから伝統ある活動を楽しむと共に、この学校での思い出を大切にしようと思っています。

